

## 大飯発電所4号機 ロータリースクリーンの点検について

2024年5月15日

関西電力株式会社

大飯発電所4号機（定格熱出力一定運転中）において、5月8日、取水口に大量のクラゲや海藻等が流入しました。クラゲ等の流入を抑制するため、2台ある循環水ポンプ※<sup>1</sup>の翼開度※<sup>2</sup>を調整し、海水の取水量を減らすとともに、ポンプ手前にある4台のロータリースクリーン※<sup>3</sup>（以下、除塵装置）によりクラゲ等を排出していたところ、除塵装置2台が過負荷により自動停止しました。過負荷の原因を調査するため、循環水ポンプ1台を停止しました。

その後、取水口から除塵装置までの水路の水抜きを行い、本日、当該除塵装置2台の外観観察を実施した結果、バスケット※<sup>4</sup>が一部変形していることを確認しました。

今後、詳細点検を実施し、原因を調査する予定です。

なお、現在、循環水ポンプの停止等により電気出力は約1.1%低下※<sup>5</sup>しましたが、安全上の問題はなく、プラントの運転状態は安定しています。

※1：タービンを回した蒸気を復水器で冷やして水に戻すために、復水器に海水を送るポンプ

※2：ポンプの翼の角度を調整し、海水の流量を制御する

※3：取水口から入ってくるごみ等を除去する装置

※4：除塵装置の一部で、微細なフィルターや金属製の網目等によりごみ等を除去する部位

※5：循環水ポンプ停止前 約103.3%（5月8日9時38分時点）

現在 約102.2%（本日9時00分時点）

以上